



チーム監督&ドライバーブリーフィング資料

1. レーススケジュール

最新版を使用していることをご確認ください。(公式掲示板)

2. サーキット情報

サーキット全長：3586.0 m / インターミディエート 1 の場所：833 m / インターミディエート 2 の場所：2568m

ピット入口の計時ループからピット出口の計時ループまでの距離：長さ 376 m

3. セーフティカー

レース中 - ピット出口でスタンバイ - セーフティカーのライトは消灯 - ターン 8 & ターン 9

4. シグナルエリア

コントロールライン / フィニッシュラインのフラッグ台 (右側)

5. 車検場

24 番ピットとなります(ピットビル)

6. ストップ&ゴー・ペナルティエリア

各自のピットガレージ / ピットエプロンで、チーム監督の責任の下で行われます。

7. パルクフェルメエリア

第 2 予選(Q2)の後 - テクニカルデリゲートはランダムに車両を**選び**車検場に入るように**指示する**ことがあります。車両がピットレーンに入ってきたときに技術委員が車両にステッカーを貼ります。当該車両にステッカーが貼られたら、それから車検場に安全に進まなければなりません。その他すべての車両はパルクフェルメ (**各自のピットガレージ**) に進みます。

Q2 中、自身の走行を終え、再度コースインするつもりのない車両は、まっすぐパルクフェルメに向かわなければなりません。セッション終了時点でピットレーンにいる車両は、パルクフェルメに押し戻さなければなりません。ドライバーブリーフィングで示されたように車両を停めてください。

レース 1 & レース 2 後 - 各カテゴリーの優勝者は表彰台エリアに向かってください。優勝者は無線メッセージを介して、および / または計時モニター上でアナウンスされることがあります。

- 残りの車両は、ピット入口からパルクフェルメ (**各自のガレージ**) に進んでください。



8. ピットレーン

- 本コース上で車両が近づいてきていることを警告するために、ピット出口ラインの左側で青色のライトが点滅表示されます。ドライバーに警告するために、青旗を持ったマーシャルが追加で1名ピット出口エリアの右側に配置されることがあります。
- ピット出口を出るときは常に、白の境界線を越えてはいけません。
- ピット入口に入るときは常に、白の境界線を越えてはいけません。
- ピットインの計時ループからピットアウトの計時ループの間の最高制限速度は**時速 50km**であり、常に尊重しなければなりません。
- ファストレーンでの速度は**時速 40km**を下回ってはなりません。車両がピット出口を出るときはいつでも速度を監視するためにレーダーガンマーシャルが配置されるものとします。不必要にゆっくり、不規則に、または危険となる可能性があると思なされる方法で走行する車両があれば、審査委員に報告されます。
- レースでのピットストップ中は、「ピットストップ作業」が完全に完了し、レースに戻る**準備ができた**場合にのみ、車両はピットレーンを離れたり移動したりすることができます。車両が安全に離れられる場合に**のみ**、ファストレーンに直接進まなければなりません。
- ピットレーン関係者や他のドライバーを危険にさらすような方法で、車両をピットストップ位置から出しては**なりません**。
- 自身の位置を離れた後に停止したり、**ファストレーンで不適切なペース**で進む車両（不可抗力を除く）はすべて調査されます。すべてのセッション中、ピットレーンでの**危険なリリース/追い越しは禁止**です。

9. トラックリミット

トラックリミットを尊重してください。コースの端を定義する白線はトラックの一部と見なされますが、縁石は見なされません。

- プラクティス中-審査委員会が必要とみなした場合、チームには**アナウンスページを介して**警告され、車両は停止させられ、続行が許可されないことがあります。
- 予選中-**トラックリミットを超えるたびにラップタイムは抹消されます**。チームには、**無線**やアナウンスページで通知されることがあります。
- レース中：
 - 最初の違反については、**アナウンスページ**でチームに警告が出されます
 - 2回目については、**警告旗（黒と白に斜めに2分割された旗）**が出され、**アナウンスページ**で警告されます
 - 3回目については、**最終警告が無線とアナウンスページ**で出されます
 - 4回目については、**無線による**ドライブスルーペナルティとなり、**アナウンスページ**で通知されます



10. スタート進行

- ボードと無線メッセージによってカウントダウンがアナウンスされます
- フォーメーションラップ中（ターン9後）は、ローリングスタートのために、車両はすでに適切に並んでいて、しっかりとグループになっていなければなりません。
- すべての車両は適切なフォーメーションで並んでいる必要があります。ドライバーは、不規則な加速やブレーキング、または他のドライバーを危険にさらしたり、スタートを妨げたりする可能性のある操作を伴わないペースで進まなければなりません。
- ぴったりとフォーメーションを取るために、「グリッド」ボード（2x2）がターン10で提示されます。
- ポールポジションは、時速70~90kmの間で一定の速度を維持しなければならず、レース1およびレース2のスタートドライバー向けの特別ブリーフィングでレースディレクターに指示されたように行わなければなりません。
- すべての車両は、（ドライバーブリーフィングで示されたように）白いグリッドボックスのみを通過する2列に並んでいなければなりません。自分がどこにいるか（グリッドボックスの上）に注意してください。
- この手順に従わない車両はすべて、「スタート違反」として調査される場合があります。許容速度の許容値を確認するために、レーダーガン2台が追加で使用されます。
- レッドライトがグリーンになるとレース開始となります。スタートラインを越える前に追い越しが認められます。

11. 赤旗時の手順

- プラクティスおよび予選中—追い越しは禁止です。すべての車両はゆっくりとピットレーンに進み、自身のガレージの前で停止します。（45度の角度）。ピット出口でファストレーンに並ぶことが認められる前に、指示を待ってください。
- レース中、レース開始から1周目および2周目で赤旗が提示された場合—追い越しは禁止で、すべての車両はスターティンググリッドにまっすぐ進み自身の元のグリッド位置に着かなければなりません。
- レース中（レース開始から3周目の開始時以降）—追い越しは禁止で、すべての車両はゆっくりとピットレーンに進み、ファストレーンに1列で止まらなければなりません。

最初に到着した車両は、ピット出口のファストレーンに直接進み、その後すべての車両が続きます。



12. レース再開時の手順

遅延は可能な限り短く保たれます。再開時間がわかると、チームは無線メッセージと計時モニターを介して通知されます。レースは、ピットレーンまたはグリッドからセーフティカー先導で再開されます。バックマーカーは、レース再開の開始 **2分** 前にリリースされます。その後、バックマーカーがコース上の車列に加わります。
必要に応じて、ファストレーンに車両を配置することもあります。

13. ピットストップ／ドライバー交代

レース開始 (**レッドからグリーンライトになった時**) から 25 分 00 秒 000 後から 34 分 59 秒 999 後の間となります

- すべての作業員は、最低でも耐火性オーバーオールとヘルメットを着用しなければなりません。
- カーコントローラー用の白い腕章 1 枚
- メカニック用の赤い腕章 2 枚
- 車両がガレージ前で停止する前に、器具を置くことは認められません。
- 作業を許可されているメカニックの最大人数は **2名** です。追加の **1名** は、フロントガラスとライトの洗浄／清掃、ラジエーターグリルからの汚れや草の除去、ウォーターボトルの交換、またはドライバー交代中にドライバーを援助することができます；**この人は腕章を必要としません。さらに、この人はセッション中に車両を適切な場所に押すのを手伝うことが許可されています。**
- メカニックや道具が作業エリアからなくなるまで、車両は作業エリアを離れることができません。カーコントローラーのみが作業レーンに入ることができます。

14. セーフティカー手順

- FCY は、プラクティス、予選、レース中は使用され**ません**。
- レース中の中立化の目的で、セーフティカーが代わりに使用されます。セーフティカーの手順は、厳密に**国際競技規則 H 項、第 2.10 条**に準拠します。

15. ドライビングスタンダード

ドライバーは、すべてのセッションでコース上にいる間、注意を払わなければなりません。コース上でお互いを尊重してください。必要に応じて、十分なレーシングスペースを与えなければなりません。ミラーを確認しないことは、ドライバーの重大な違法行為です。ミラーを確認することはあなたの義務です。

GT4 車両は、追い越しの前にミラーを見て、何も車両が近づいていないことを確認して、**特別な注意を払う** ことをお勧めします。

GT3 車両は、GT3 と GT4 の車両を追い越すときに注意を払わなければなりません。あなたがより速い車両であるならば、より遅い車両を回避する方法を見つけること



はあなたの責任であることを忘れないでください。遅い車両は彼らのラインを保持しなければなりません。不注意な運転はすべて対処されます。ドライビングスタンダードは非の打ちどころのないものでなければなりません。

GT3 車両は、コース上にいる間は常にヘッドライトを点灯していなければなりません。これは非常に重要で、コース上の行動はレースの週末を通して最も重要です。トラックの端を越えて車両を故意に押し込んだり、その他の異常な方向転換をしたりするなど、他のドライバーを妨害する可能性のある操作は固く禁じられています。

16. ピットレーンでの位置/ファストレーン・オープン

無線または計時モニター上で「ファストレーン・ナウオープン」のアナウンスが出るまで、車両はファストレーンに移動できません。アナウンスは通常、ピット出口オープンの5分前の合図で行われます。必要に応じて（予選の分単位のカウントダウンを参照してください）。

プラクティスについて—アナウンスは「ファストレーン・ナウオープン」となります。すべての車両はピット出口のファストレーンに並ぶことができます。

予選では、ピット出口オープンの10分前以内に、車両を前方に押し出し、ピット出口に向かって45度で駐車しなければなりません。（アナウンスをお待ちください）

17. 予選セッション

各予選セッションでは、GT3クラスとGT4クラスは別々のスケジュール時間が設定されています。

レースディレクターによる無線での公式の指示があるまで、車両はピット出口に進むことができません。

セッションのインターバル中に赤旗が出た場合、すべての車両はピット出口のファストレーンに進む前にアナウンスを待たなければなりません。この間、1分前の警告アナウンスはありません。この指示に従わない車両はピット出口に留められ、他のすべての車両がピット出口から出た後にのみリリースされるものとします。これに加えて、ドライバーはセッション後に審査委員会に出頭する必要があります。

18. 注意事項

- GT3の義務ピットストップ時間は、ピット入口の計時ループからピット出口の計時ループまで**90秒**となります。GT4/TC招待の義務ピットストップは、ピット入口の計時ループからピット出口の計時ループまで**125秒**となります。ピットウィンドウの開閉は、時刻が設定された時にのみ、計時ページを介してアナウンスされます。
- レコネサンスラップ（ピットレーンを通る追加の周回）は、両方のレースで許可されています。注：ピットレーンオープンは**5分間**です。特定の状況下では、予期しない障害物またはピットレーンを通過する危険性のために、レース



ディレクターがそれを認めない旨をアナウンスする場合があります。常に無線の指示を聞いてください。

- セッション中に**チームメッセージングシステム**が起動して準備ができていることを確認してください。チームは**毎朝最初のセッション**でのみ応答する必要があります。
- レースディレクタールームは、本館の管制室横の（2階）です。
- 指定された正しいドライバーが予選とレースの各セッションに参加することを確実にしてください。
- 予選およびレース中は、車内のすべてのドライバーIDインジケータを**正しくオン**にしておかなければなりません。いかなる違反も調査されます。
- **ガレージ内**で給油が必要な場合は、この手順が安全規則、すなわち消火器、耐火性スーツで守られていることを確認してください。（国際競技規則H項、第**2.3.3**条）
- 公式プラクティスと両予選セッションでは、**最低2周の計測周回**が義務付けられています。
- 予選中またはその間のインターバルでは、コンピューターを車両に接続することはできません。
- 予選セッションの自分の仕事を完了したドライバーは、減速したり、レーシングラインに留まったりしては**なりません**。すべてのドライバーは、予選を行っている他のドライバーに干渉することなく、レーススピードを維持し、ピットに戻る必要があります。**ドライバーが意図的にブロックしたり、セッションを遅らせたりしたとの報告があった場合、ペナルティが課せられることがあります。**
- プラクティス、予選、またはレース中に行われた回収作業（マーシャルによって**安全なゾーンにプッシュされたか、レッカー車などの機械的援助で回収されたかに関係なく**）一車両はセッションを続行することを**認められます**が、まずは車両を運転して自力でピット入口に戻らなければなりません。
- セーフティカーを導入する必要がある場合、ピットウィンドウは**時間どおりに閉じます**。
セーフティカー下の状況により、レースディレクターはピットウィンドウを**最大3分**まで延長できる場合があります。
- チームは、**プラクティスセッション中**にのみドライバー交代の練習を行うことができます。
- エアーのラインを反対側に運ぶブームまたはその他のオーバーヘッド機器は**許可されません**。
- 安全上の理由から、チームがピットストップを行おうとするときは、**誰も車両の前に立ったり待ったりしてはいけません**。チームはロリポップを使用するか、ボードを配置する必要があります。
- 作業ピットレーンに車両2台の駐車は許可されて**いません**。



- レース 1 および 2 のフロントローのスターティングドライバーは、以下の時間にレースディレクターのオフィスを訪問しなければなりません:-
土曜日 -14:00
日曜日 -10:00
- シャンパンは両レースで表彰台に置かれます。表彰台に上がるレース 1 およびレース 2 のすべての勝者は、シャンパンを撒かなければなりません。
- 両レースのグリッドでは、チーム旗の掲出が義務です。
- チームは、車載カメラとピットカメラの両方の時刻が計時システムと同期して分まで設定されていることを確認し、参照用にそれに応じて車番をマークしなければなりません。すべてのオンボードカメラのメモリーカードは、レース 1 およびレース 2 の終了時にピットレーンオフィシャルによって回収されます。車両からメモリーカードを取り出すために、チームメンバーを 1 名待機させてください。審査委員会がすべての調査を完了すると、メモリーカードはチームに返却されます。
- すべてのドライバーは、トラックリミットがレース全体、特にレースのオープニングラップで監視されることに注意する必要があります。正当な理由なしにトラックを離れること、特に車両が勢いを維持または獲得することを可能にする理由は、審査委員会によって調査されます。
- 消火器の使用、フォームバリア、タイヤバリアなどのサーキット施設内の損傷は、関係するチームに直接サーキットから請求されます。これには、金曜日、土曜日、および日曜日が含まれます。

M.ラビン

FANATEC GT WORLD CHALLENGE ASIA POWERED BY AWS レースディレクター